

宮城県糖尿病看護研究会規約

第1章 総則

- 第1条 本会は、宮城県糖尿病看護研究会と称する。
第2条 本会の事務局を下記におく。
東北大学病院 西14階病棟

第2章 目的

- 第3条 本会は、糖尿病看護全般の研究と、会員相互の教育と情報交換を行うことにより専門看護領域としての糖尿病看護の向上発展を図ることを目的とする。

- 第4条 本会は、前条の目的を達成するために、次の事業を行う。

1. 研究会の開催
2. 本会の目的達成に必要な事業
3. その他の事業

第3章 会員

- 第5条 本会の会員は、糖尿病教育・看護に携わるものとする。
第6条 本会への入会は年会費の納入をもって入会とする。

第4章 役員及び運営

- 第7条 本会に次の役員をおく。
代表世話人 1名
世話人 12名
監事 1名
- 第8条 世話人会は、代表世話人、世話人、監事で構成する。
世話人については、別添参照
- 第9条 代表世話人は、世話人会において選出する。
第10条 世話人会は、本会の企画運営にあたる。
第11条 研究会は、世話人会が運営にあたる。
第12条 研究会は原則として年1回開催する。

第5章 会計

- 第13条 本会の会計は東北労災病院 4階病棟におく。
第14条 本会の運営及び事業に必要な経費は、会費、寄附金、その他の収入をもってこれにあてる。
第15条 本会の会計年度は、4月1日より3月31日とする。

第6章 付則

- 1) 本会の会費は、年会費1,000円、研究会参加費1,000円とし、非会員は研究会参加費2,000円とする。
- 2) 本会会則の変更は世話人会の議決による。
- 3) 本会会則は平成16年6月19日から施行する。

平成16年6月19日施行

日本糖尿病療養指導士「認定更新のための研修単位」

本研修会は、日本糖尿病教育・看護学会により糖尿病療養指導士更新単位<第1群>看護の研修4単位が認定されます。
日糖教看学-共催 第110413-1号
また、本研修会は「日本糖尿病療養指導士 認定更新のための研修会」として<第2群>(糖尿病療養指導研修単位)2単位(認定番号11-0143)が認定されます。

注)以上の申請のうちどちらかの一方の選択になります。

会場までのアクセス

■JR・仙台駅より地下鉄「北四番町駅」下車、徒歩10分
JR・仙台駅よりタクシーで10分



共催：宮城県糖尿病看護研究会
日本糖尿病教育・看護学会
宮城県糖尿病対策推進会議
日本イーライリリー（株）

第7回

宮城県糖尿病看護研究会 プログラム

日時：平成23年6月5日（日）
9:30～17:45

会場：良陵会館 記念ホール
(ごんりょうかいかん)

仙台市青葉区広瀬町3-34
TEL：(022)-227-2721

【緊急連絡先・研修会問合せ先】

日本イーライリリー株式会社
糖尿病・成長ホルモン事業本部
北日本支店 和氣 大輔
TEL:022-712-8060
FAX:022-712-8065
E-mail:waki_daisuke@lilly.com

◆

良陵会館 記念ホール

◆

9:30 開会の辞 東北大学病院 石井 幹子

9:35 総会 東北労災病院 佐藤 多賀子

9:40~10:55 クリニカルトーキング 第一部
座長 医療法人楽生会 奥口内科クリニック 熊坂 薫

1-1 チームアプローチによるインスリン自己注射指導
塩釜市立病院 佐藤 昌博ほか

1-2 SMBG の誤差の有無とその原因の究明
- 正確な手技の確立を目指して -
東北労災病院 佐々木 里美ほか

1-3 看護師の針刺しに対する認識調査
- インスリン注射介助時と他の採血や点滴の処置時を比較して -
東北厚生年金病院 佐藤 香奈ほか

1-4 介護環境が療養悪化になった事例報告
長町病院 志賀 綾子ほか

1-5 健康行動理論に基づいた糖尿病教育入院患者への指導の導入と
その後の経過
東北公済病院宮城野分院 金野 美香ほか

10:55~11:00 休憩

11:00~12:00 クリニカルトーキング 第二部
座長 宮城県糖尿病看護研究会 世話人 玉山 由紀

2-1 高齢者の転倒予防フットケアにおけるキネステティック概念を
応用した看護支援の有効性に関する考察
宮城大学看護学部 三浦 愛香ほか

2-2 当クリニックにおけるフットケアの現状
たねだ内科クリニック 名城 真弓ほか

2-3 フットケア外来における地域連携を試みて
東北厚生年金病院 及川 幸恵

2-4 のぼそう健康革命 できることから始めよう
あなたのクオリティライフ すすめよう 100万人の健康づくり
杜の都いきいき健康ネットワーク
NPO 法人 生活習慣改善センター 富澤 伊勢雄

12:00~13:00 昼休憩

13:00~14:15 クリニカルトーキング 第三部
座長 宮城大学 只浦 寛子

3-1 看護師の糖尿病看護の基礎知識に関する意識調査
米沢市立病院 佐藤 千穂ほか

3-2 当院における新しい糖尿病診療体制への取り組み
- 糖尿病サポート室とCDEの活用 -
仙台厚生病院 星野 ゆかり

3-3 糖尿病外来における治療中断防止の取り組み
坂総合病院 山下 義隆ほか

3-4 糖尿病集団指導の運営内容についての検討
東北公済病院 石森 か代ほか

3-5 糖尿病連携手帳をどのように活用したら、内科・眼科の連携が
はかれるか？
大槻眼科医院 高橋 和子ほか

14:15~14:20 休憩

14:20~15:20 クリニカルトーキング 第四部
座長 東北公済病院 安斎 由美

4-1 地域にあった糖尿病療養指導
- フードモデルを作成して -
てらだクリニック 今川 里美ほか

4-2 小児糖尿病患者に対して行った糖尿病療養指導を振り返って
坂総合病院 山下 義隆ほか

4-3 糖尿病一泊二日教育入院における栄養指導のアプローチと結果に
ついて
東北公済病院 和泉 とし江

4-4 壮年期男性・糖尿病患者の食事療法を支える配偶者の
精神的負担に対する看護支援
宮城大学看護学部 早坂 和晃ほか

15:20~15:30 休憩

15:30~16:30
【特別講演Ⅰ】

座長 東北労災病院 副院長 兼 糖尿病代謝センター長
赤井 裕輝先生

「インクレチンを糖尿病診療に」

秋田大学大学院医学系研究科
内分泌・代謝・老年内科学講座
教授 山田 祐一郎先生

16:30~16:40 休憩

16:40~17:40
【特別講演Ⅱ】

司会 東北大学病院 由浪 有希子

「糖尿病を持つ女性の性と妊娠・出産に関わる
問題とその支援の在り方」

久留米大学医学部看護学科母性看護学
准教授 田中 佳代先生

17:40~17:45

閉会の辞 東北厚生年金病院 及川 幸恵